

高知医療生協・高知民医連

東日本大地震災害支援ニュース

N O 9 2011年3月25日 発行 高知医療生協大震災支援事務局

■東日本大地震第1次支援隊 岡村和彦さんから第4報です。

朝のミーティングでは「震災後最大の支援者、210名（医師35名・看護師71名・コメディカル33名・事務71名）、また昨日の外来件数637名、救急19台、入院7名、14ヶ所の避難所を訪問と報告。今日の私の役割は「避難所訪問」。

午前中は600人程が非難しているという「多賀城文化センター」に20数人で訪問。施設内の指定場所に仮設診療所を設けるとともに、医師・看護師・事務を1組にして避難者を個別に訪問。私は仮設診療所で受付を担当。20数人の患者さんを診察、嘔吐下痢の患者さんが増加し受診に来られ坂総合病院に搬送。昼ごろに昼食配給の長蛇の列に並んでいる聴力障害者の女性が倒れ、救急車を手配して坂総合病院に搬送。

午後は、塩竈第3中学校の体育館の避難所を10名で訪問。（坂総合病院は新館は塩竈市、旧館は多賀城市と2つの行政区に対応しているとのこと）ここは20人程が非難し、会長という役割の人も決め、「役割も分担しながら生活をしている」とのこと。和やかに女性のみなさんが夕食の仕度をしていましたが、会長役のおじさんはいろいろと心労があるようです。広い体育館にストーブが1個、生活スペースが4ヶ所に別れて存在していました。今日の夕方の支援者集会で

、藤末会長が「今後の取り組みについて、宮城と相談のうえ発表するが、支援の内容を変更していく必要がある」との報告がありました。片山さんは、ハンドマイクを持って地域訪問をするグループを担当するといって出かけていました。午後5時20分過ぎ、支援に来て大型の余震です。「震度5弱」との報道、揺れました。



■今後の人的支援について

当面以下の通り人的支援を組みたいと思います。年度初めの忙しい時期ですが、「命を守る取り組みとして」全国の仲間とともに民医連・医療生協の真価を発揮していきましょう。職場でできる限りのサポート体制をとり可能な部署は人的支援活動に参加することをよびかけます。

基本の支援(第3次→当面の日程 4/4~ 4/16)

毎週月曜日→最終便の飛行機で東京へ行き、民医連本部の近くのホテルで前泊。

翌火曜日→朝9時民医連本部を大型バスで出発、午後4時ころ宮城・坂総合病院到着

水曜日～金曜日まで現地支援 事業所や避難所での支援など

土曜日→朝9時半 坂総合病院出発、午後4～5時頃東京駅到着 羽田発最終の飛行機で帰高

※この基本支援は、宿泊パック付往復航空チケットですので変更ができません。

また、飛行機が取れない場合は深夜高速バスを利用します。

第3次支援 4/4-4/9 上記基本の支援パターンで行きます 2名緊急募集

第4次支援 4/11-4/16 上記基本の支援パターンで行きます 2名募集

4/17以降も支援は必要ですが、追って連絡いたします。

職種は問いません。各職場で相談の上、管理部を通してできるだけ早めの申込みをお願いします。日程が重なった場合等は、調整の相談をさせていただきます。